

NACSVビジョン2030

ビジョン（2030年のあるべき姿）

～さらなる安全・安心な暮らし、そして持続可能な未来へ～

私たちは、社会環境の変動にしなやかに対応し、消費生活全般において、安全・安心に暮らせる社会の構築に貢献します。

ミッション（使命・目的）

消費者の権利の擁護および利益の増進に関する事業を行うとともに、企業、地域社会、行政等多様なステークホルダーと協働し、消費者利益と企業活動の調和がとれた持続可能な社会の形成に貢献します。

バリュー（ビジョン・ミッション実現に向けた具体的な行動指針）

1. 時代の変革がもたらす新たな便益をすべての消費者が享受できる社会の構築に取り組みます。
2. 社会の一員として、消費者課題への対応力向上と自律性を醸成する消費者教育・啓発を推進します。
3. 様々な要因によって生じる消費者問題の解決に取り組みます。
4. 消費者、企業、行政及び地域社会等とのハブとして連携・協働を進めます。
5. 会員の多様性、専門性、先見性を活かした相互研鑽と活動の場を創出します。

NACSBizジョン2030について

①執行部インタビュー、②代議員アンケート、③外部インタビュー等を尊重し、今の会員、そして時代や社会が求める消費者団体・消費生活専門団体像をクリアにし、そのアイデンティティの再確立に向けてどのような活動をしていくのか（ミッション・ビジョン）を明確化すること※1を目指したものです。（※1：「NACCSのあり方検討委員会」設置の目的 2020年度第1回理事会議案より一部抜粋）

		左記の意味合い
ビジョン	～さらなる安全・安心な暮らし、そして持続可能な未来へ～ 私たちは、社会環境の変動にしなやかに対応し、消費生活全般において、安全・安心に暮らせる社会の構築に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの暮らしに欠くことのできない安全・安心を更に進め、持続可能な未来を目指し、2030年に向けて取り組む思いを最初に掲げています。“さらなる”、“暮らし”という形で、ひらがなを使用することで、和かさ、親しみやすさも表現しています。 VUCA※2の時代あって、大きく急激な変化にも、柔軟かつ強靱に対応し、消費生活全般について、安全・安心に暮らせる社会づくりに貢献することを示しています。 （※2：V(Volatility: 変動性)U(Uncertainty: 不確実)C(Complexity: 複雑)A(Ambiguity: 曖昧性)の頭文字をとった造語／先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態）
ミッション	消費者の権利の擁護および利益の増進に関する事業を行うとともに、企業、地域社会、行政等多様なステークホルダーと協働し、消費者利益と企業活動の調和がとれた持続可能な社会の形成に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> 定款に記すNACCSの目的を、わかりやすく、また、これからの時代に寄り添う表現にしています。 企業、地域社会等、様々なステークホルダーと協働することや、持続可能な社会の形成への貢献についても、意欲を持って提示しています。
（ビジョン・ミッション） バリュー 実現に向けた具体的な行動指針	1. 時代の変革がもたらす新たな便益をすべての消費者が享受できる社会の構築に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 消費者を「誰一人取り残さない」という言い方ではなく、“デジタル化やイノベーションなどによってもたらされる新しい様々な便益をすべての消費者が享受できる社会の構築”、と前向きな取組に変え、最初の行動指針にしています。
	2. 社会の一員として、消費者課題への対応力向上と自律性を醸成する消費者教育・啓発を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> NACCSの活動の三本柱の一つ、「消費者教育・啓発」について、持続可能な未来を形成する一員として、“消費者が課題に対応する力の向上”や“自律した消費生活を営むこと”を目指して推進することを示しています。
	3. 様々な要因によって生じる消費者問題の解決に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> NACCSの活動の三本柱の一つ、「消費者トラブルの解決」について、“様々な要因によって”、と多様化・複雑化・高度化する消費者問題を幅広く受けとめ、解決に向けて取り組むことを示しています。
	4. 消費者、企業、行政及び地域社会等とのハブとして連携・協働を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> NACCSの活動の三本柱の一つ、「行政・企業・消費者団体等との連携」について、消費者に最も近い地域社会もステークホルダーとして明記し、架け橋から“ハブ”へと能動的に各ステークホルダーを中継していく意思を、“連携”に“協働”を加えて示しています。
	5. 会員の多様性、専門性、先見性を活かした相互研鑽と活動の場を創出します。	<ul style="list-style-type: none"> NACCSの人財の特徴を最大限に尊重（＝ダイバーシティ&インクルージョン）しつつ、様々な会員の満足度の向上も図ることを含めて、様々な機会を創出することを示しています。